学校番号	３０１３

令和3年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

三年での授業では
・対象物をよく見て観察力を養うこと。型にとらわれず、自由に柔軟に発想すること。
この二点に重点を置いて作品づくりをします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート グループ活動の様子	アイディアスケッチ 制作中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準
			a	b	c	d	
前期	美術3	(絵画・彫刻)(鑑賞) ・オリエンテーション 教科書や配布プリントを見ながら授業内容について知る。	○			○	a:美術での表現の意味を理解し、創造活動への関心、意欲を高めようとしている。 d;美術作品を鑑賞しながら、様々な表現技法があることを認識し、作品のよさや美しさを感じとることができる。
	人物クロッキー	(絵画・彫刻) ・1分間クロッキー 毎回の授業開始時に行う。 サインペンを使用。	○	○	○		a:ほかの人のクロッキーをすることに関心を持ち、すばやく形をとらえ、描写しようとしている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、表現している。 c:クロッキーの目的を理解し、サインペンの特性を生かして表現している。
	まっすぐな線を引こう	(デザイン) ・色彩構成 アクリルガッシュを使用。 三原色を混色して色を作りそれらをまとめて新たな画面を作り出す。	○	○			a:自分の選択した色の混色で、たくさんの色を作っている。 ｂ:作った色の明暗を考え、それらを交互に配置し、新たな画面を制作する。 ｃ：色の３属性を理解して、表現された画面を構成している。
	静物画	(絵画)(彫刻) ・絵を描こう F10号の大きさのパネル アクリルガッシュを使用。ペインティングナイフを使って描く。 モチーフは観葉植物、瓶、球体など基本形態に近いものを準備	○	○	○		a:与えられたモチーフを表現することに関心を持ち、形や色の働きを考え、制作に取り組もうとしている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 ｃ:アクリル絵の具や、ペインティングナイフという道具の特徴を生かし、表現方法を工夫している。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準
			a	b	c	d	
前期	商店街のデザイン	(絵画・彫刻)(鑑賞) ・画面構成 単純な2つの抽象形態の組み合わせから新しい形態を創造する。 ・２５個の形態をバランスなど考えながら配置し、画面を構成する。 ・相互鑑賞 推薦作品をみんなで選ぶ。鑑賞する	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:２版の重ね合わせから新しい形を作り出すことに関心を持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:偶然出来上がった形や色彩の組み合わせを考えて表現の構想を練っている。 c:２５個の形態を１つのデザインとして表現している。 d:技法によるおもしろさ、表現の工夫など感じ取り、作品についての理解を深める。
	文字による色彩構成	(デザイン)(鑑賞) ・色の学習プリント 文字のレタリングを練習する。 ・制作 文字をデザインし、画面分割する。 配色を考え、計画する。 着彩する。 ・ふりかえり　相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:文字構成のおもしろさや色構成の楽しさに興味を持ち、意欲的、計画的に制作に取りもうとしている。 b:色の面積比やバランスなどの構成を理解し、美しい画面を構想することができる。 c:材料や用具、色彩配置の美しさなどを工夫しながら、表現している。 d:作品の効果的な色の表現や、色の働きについて体験的に味わい、文化や生活に息づく色彩の魅力を味わうことができる。
	見近なものをクロッキーしてみよう	(絵画・彫刻) ・見近なもののクロッキーをする　ポイントを学ぶ。 1モチーフ6分程度で描く。 ふりかえり	○	○	○		a:クロッキーの表現活動を通して、表現することの楽しさを感じ、表現意欲を高めようとする。 b:対象をよく観察し、鉛筆の特性を生かして表現している。 c:日常的なものバランス、プロポーション、大きさに気をつけて正確に表現している。
後期	公募に応募	(デザイン) ・公募ポスターへの応募 アイディアスケッチ 選んだ公募内容や、テーマに合ったデザインを各自で考える。 制作 アクリル絵の具やクレヨン、その他必要な素材等を用いて、制作を行う。	○ ○ ○	○	○	○ ○	a:ポスターデザインの目的や条件などを考えて表現することに関心を持ち、テーマの表現に主体的に取り組もうとしている。 b:選んだテーマの目的から主題を生成し、描画表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に合わせた表現方法を工夫して、目的や計画をもとに表現している。 ｄ：他の生徒の作品の良さを味わうことができる。

後期	鑑賞	（鑑賞） ・教科書の中のピックアップした作品を選び、グループになる。 ・作品について調べる。 作品から受けたイメージや特徴などをディスカッションしながらまとめる。 ・グループ代表が発表する。	○ ○ ○			○ ○ ○	a：地域や生活の中にある美術文化や伝統、造形作品について美しさを感じ取り、関心を深め、生活や社会を通して美術の働きを理解している。 d：作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然の中にある美しさや、美術の働きを感じとり、美術作品のよさや美しさを創造的に味わう。
	ボックスアート	（絵画・彫刻）（鑑賞） ・物語からシーンを選ぶ。 200×200の大きさのボックスを使用。 アクリルガッシュ、紙粘土、包装紙、色紙等素材は問わない。	○ ○	○	○ ○ ○		a：物語の表現に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：物語の内容を表すシーンの表現の構想を練っている。 c：用具や素材の特性を生かし、表現方法を工夫している。

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。